

中世日本の国際交流における  
海上交通に関する研究

荒木和憲 編



共同研究の経過と概要 荒木和憲

【論文】

日宋・日元貿易船の乗員規模 榎本 渉

日宋・日元貿易期における「南島路」と硫黄交易 山内晋次

元代の海上交通 四日市康博

モンゴル時代における朝中間の海上交流と航路 森平雅彦

高麗時代の遺跡から出土する中国陶磁器の状況と特徴 李明玉

遣明船と南海路 伊藤幸司

中世日朝通交貿易における船と航海 荒木和憲

海と権力 岡美穂子

『琉球国図』の薩琉航路 渡辺美季

東アジアの媽祖信仰と日本の船玉神信仰 藤田明良

船漆喰 出口晶子

水中文化遺産研究の可能性 佐々木蘭貞

【研究ノート】

中世石見国高津川・益田川河口域港湾の基礎的研究 田中大喜

【資料紹介】

高得宗「弘化閣記」について 米谷 均

【調査研究活動報告】

絵画資料に描かれた中世の船 小島道裕

# 国立歴史民俗博物館 研究報告 第223集

[共同研究]

中世日本の国際交流における海上交通に関する研究

荒木和憲 編

令和3年3月

目次

〔論文〕		
共同研究の経過と概要	——	荒木和憲……………1
日宋・日元貿易船の乗員規模	——	榎本 涉……………9
日宋・日元貿易期における「南島路」と硫黄交易	——	山内晋次……………253
元代の海上交通	——	四日市康博……………31
モンゴル時代における朝中間の海上交流と航路	——	森平雅彦……………285
高麗時代の遺跡から出土する中国陶磁器の状況と特徴………韓国出土品を中心として	——	李明 玉……………313
遣明船と南海路	——	伊藤幸司……………51
中世日朝通交貿易における船と航海	——	荒木和憲……………339
海と権力………宣教師報告に見る畿内・九州移動ルートの分析を手がかりに	——	岡美穂子……………387
『琉球国図』の薩琉航路………『琉球御渡海日記』から考える	——	渡辺美季……………75
東アジアの媽祖信仰と日本の船玉神信仰	——	藤田明良……………97
船漆喰………近世文書の民俗学的考察	——	出口晶子……………149
水中文化遺産研究の可能性………鷹島海底遺跡の検証を中心に	——	佐々木蘭貞……………179
〔研究ノート〕		
中世石見国高津川・益田川河口域港湾の基礎的研究	——	田中大喜……………207
〔資料紹介〕		
高得宗「弘化閣記」について	——	米谷 均……………225
〔調査研究活動報告〕		
絵画資料に描かれた中世の船………『日本絵巻大成』に見える船の画像一覧	——	小島道裕……………243

---

DEGUCHI Akiko	
Ship Caulk in Japan : Folkloristic Study of Early Modern Records .....	149
SASAKI Randy	
Potential of Underwater Cultural Heritage Studies :	
Focusing on Takashima Underwater Site .....	179
Research Notes	
TANAKA Hiroki	
A Fundamental Study of the Port in the Takatsu and Masuda River Basins in	
Iwaminokuni in Medieval Times .....	207
Research Materials	
YONETANI Hitoshi	
Honghwagakgi by Go Deukjong .....	225
Report on Investigation and Research Activity	
KOJIMA Michihiro	
Medieval Ships Depicted in Historical Pictures :	
Pictures of Ships Contained in <i>Nihon Emaki Taisei</i> .....	243

---

---

# Bulletin of the National Museum of Japanese History Vol.223

Collaborative Research: A Study of the Role of Marine Transportation in International  
Exchanges in Medieval Japan  
Edited by ARAKI Kazunori

---

## Contents:

ARAKI Kazunori Progress and Overview of the Collaborative Research .....	1
Article	
ENOMOTO Wataru Scale of Crew and Passengers on Trading Ships between Japan and China in the Song to Yuan Periods .....	9
YAMAUCHI Shinji The South Island Route and Sulfur Trade between Japan and China in the Song and Yuan Periods .....	253
YOKKAICHI Yasuhiro Maritime Transport of the Yuan Period .....	31
MORIHIRA Masahiko Maritime Interaction and Routes between the Korean Peninsula and the Chinese Mainland in the Mongolian Era .....	285
LEE Myoung ok The Conditions and Characteristics of Chinese Ceramics Excavated from Sites of the Goryeo Dynasty : A Study Focused on Archaeological Findings from South Korea .....	313
ITO Koji Ships Carrying Japanese Missions to Ming China and the South Sea Route .....	51
ARAKI Kazunori Ships and Voyages for Trade between Medieval Japan and Korea .....	339
OKA Mihoko The Sea and Local Powers : An Analysis of the Kyushu-Kinai Route based on Missionaries' Reports .....	387
WATANABE Miki The Satsuma-Ryukyu Routes on the <i>Ryukyu Kingdom Map</i> : A Detailed Analysis Based on the Diary of Ito Sukemasa's Voyage to Ryukyu .....	75
FUJITA Akiyoshi Mazu Worship in East Asia and Funadama Worship in Japan .....	97

---

## 『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

平成 31 年 3 月 5 日 研究推進センター会議改正

令和 2 年 3 月 3 日 研究推進センター会議改正

令和 3 年 1 月 12 日 研究推進センター会議改正

### 1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 研究報告には、通常号と特集号がある。通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。

### 2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
  - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授。
  - 二 本館運営会議委員。
  - 三 本館の共同研究員等。
  - 四 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等。
  - 五 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)。
  - 六 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者。
  - 七 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生で、本館教員が推薦した者。
  - 八 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者で、本館教員が推薦した者。
  - 九 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者。
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
  - 一 本館の共同研究員等。
  - 二 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等。
  - 三 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者。

### 3 投稿

- 3.1 掲載される論文等には、次の区分がある。
  - 一 論文：歴史学、考古学、民俗学および分析科学を含む関連諸学に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、もしくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの。
  - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、もしくは予察、試論、着想等を提示するもの。
  - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの。
  - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、もしくは調査・研究の基礎情報を提示するもの。
- 3.2 原稿は、区分を問わず未発表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.3 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.4 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、事前に編集委員会に相談すること。
- 3.5 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は『国立歴史民俗博物館研究報告』執筆要領に定める。

#### 4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。

#### 5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は、編集著作権との関連上、刊行から1年後以降、データのみ場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

#### 6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、50部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地

国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

#### 附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

#### 附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

#### 附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

#### 附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

#### 附 則

この要項は、令和3年2月1日から施行する。

**〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕**

**館外委員** (五十音順)

青木 敬 國學院大學文学部  
大石 泰夫 國學院大學文学部  
未代 誠仁 桜美林大学リベラルアーツ学群  
見城 悌治 千葉大学大学院国際学術研究院

**館内委員** (五十音順)

川村 清志 研究部民俗研究系  
小島 道裕 研究部歴史研究系 (委員長)  
坂本 稔 研究部情報資料研究系  
村木 二郎 研究部考古研究系

国立歴史民俗博物館研究報告 第223集  
〔共同研究〕中世日本の国際交流における海上交通に関する研究  
荒木和憲 編

●  
令和3年(2021) 3月15日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●  
大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構

**国立歴史民俗博物館**

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●  
**株式会社 正文社**

〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 ☎043-233-2235(代)

〔装丁〕 中山銀士

# Bulletin of the National Museum of Japanese History

## Collaborative Research : A Study of the Role of Marine Transportation in International Exchanges in Medieval Japan

Edited by ARAKI Kazunori

Progress and Overview of the Collaborative Research  
ARAKI Kazunori

### Article

Scale of Crew and Passengers on Trading Ships between Japan  
and China in the Song to Yuan Periods  
ENOMOTO Wataru

The South Island Route and Sulfur Trade between Japan  
and China in the Song and Yuan Periods  
YAMAUCHI Shinji

Maritime Transport of the Yuan Period  
YOKKAICHI Yasuhiro

Maritime Interaction and Routes between the Korean Peninsula  
and the Chinese Mainland in the Mongolian Era  
MORIHARA Masahiko

The Conditions and Characteristics of Chinese Ceramics Excavated  
from Sites of the Goryeo Dynasty :  
A Study Focused on Archaeological Findings from South Korea  
LEE Myoung ok

Ships Carrying Japanese Missions to Ming China and the South Sea Route  
ITO Koji

Ships and Voyages for Trade between Medieval Japan and Korea  
ARAKI Kazunori

The Sea and Local Powers : An Analysis of the Kyushu-Kinai Route based on Missionaries' Reports  
OKA Mihoko

The Satsuma-Ryukyu Routes on the *Ryukyu Kingdom Map* :  
A Detailed Analysis Based on the Diary of Ito Sukemasa's Voyage to Ryukyu  
WATANABE Miki

Mazu Worship in East Asia and Funadama Worship in Japan  
FUJITA Akiyoshi

Ship Caulk in Japan : Folkloristic Study of Early Modern Records  
DEGUCHI Akiko

Potential of Underwater Cultural Heritage Studies : Focusing on Takashima Underwater Site  
SASAKI Randy

### Research Notes

A Fundamental Study of the Port in the Takatsu and Masuda River Basins in Iwaminokuni in Medieval Times  
TANAKA Hiroki

### Research Materials

Honghwagakgi by Go Deukjong  
YONETANI Hitoshi

### Report on Investigation and Research Activity

Medieval Ships Depicted in Historical Pictures : Pictures of Ships Contained in *Nihon Emaki Taisei*  
KOJIMA Michihiro



ISSN 0286-7400

vol. 223  
2021